

# いばらきガーデン& オーチャードツーリズム ～庭園と果樹園をめぐる旅～



令和元年 9 月

茨城県公園間交流連携促進協議会

## 取組の将来像（ビジョン）

茨城は、東京からも比較的近い距離にありながら、海や山、河川・湖など豊かな自然環境に囲まれています。特に、緩やかに大きく広がる平野（大地）と年間を通じて穏やかな気候は、四季の花々や多種多様な果物や野菜などの恵みをもたらし、花卉園芸なども含めた農業は、茨城を代表する基幹産業となっています。

こうした背景のもと、茨城には、広がる大地や海、山、水が創り出した雄大な自然を活かした庭園文化が開花してきました。

国営ひたち海浜公園は年間約200万人の方が訪れ、近年は外国人観光客も数多く来園される首都圏有数の庭園です。絶景と評されるネモフィラやコキアが咲き誇るみはらしの丘は、丘の下から見た青空の開放感や丘の上から見た海の広がる風景があるからこそ、花々の美しさが映え、唯一無二と言える景観を創り上げます。

偕楽園は、水戸藩第九代藩主徳川斉昭によって約180年前に創設された庭園で、年間約100万人の人が訪れます。斉昭は、自然との調和を重視し、千波湖を借景とした好文亭からの眺望は、斉昭の思想を具現化したものと言えます。

その他にも、大きな特徴となっている茨城の雄大な自然を活かした庭園が、県内には点在しています。

茨城では高速道路や鉄道、空港、港湾などの基幹的な交通インフラの整備が進み、大集客圏である東京圏からの時間距離も大幅に縮まったことから、多くの方が国営ひたち海浜公園や偕楽園を訪れる一方、その他の庭園の知名度は低く、滞在型の観光があまり定着していないことや、梅まつりといった一定の季節しか訪れない傾向にあること、さらに目的地まで行こうとしても、常磐線や茨城空港といった基幹的な公共交通機関からアクセスする2次交通が弱いことが観光振興を図っていく上で大きな課題となっています。

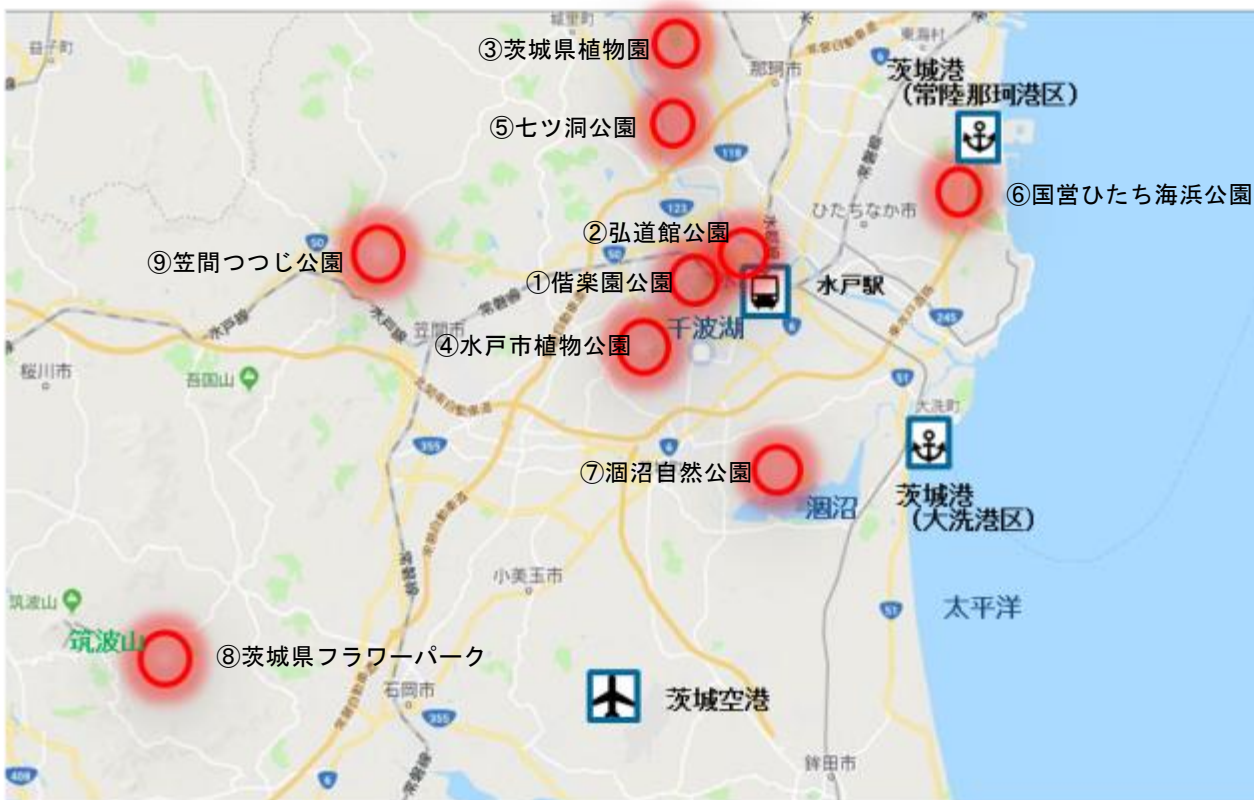
本ガーデンツーリズムでは、国営ひたち海浜公園や偕楽園のみならず、季節の魅力にあふれ、雄大な自然に囲まれた茨城ならではの庭園の見どころを発信し、交通インフラや農業と食など茨城の特徴も組み合わせながら、庭園間の連携を図ることによって、滞在時間の拡大やリピーターの獲得といった観光に関する諸課題の解決と合わせ、これらを県の産業振興や地域振興につなげる取り組みに結びつけていきます。

取組全体の範囲がわかる位置図（地図等）



対象エリア

構成庭園の位置図（地図等）



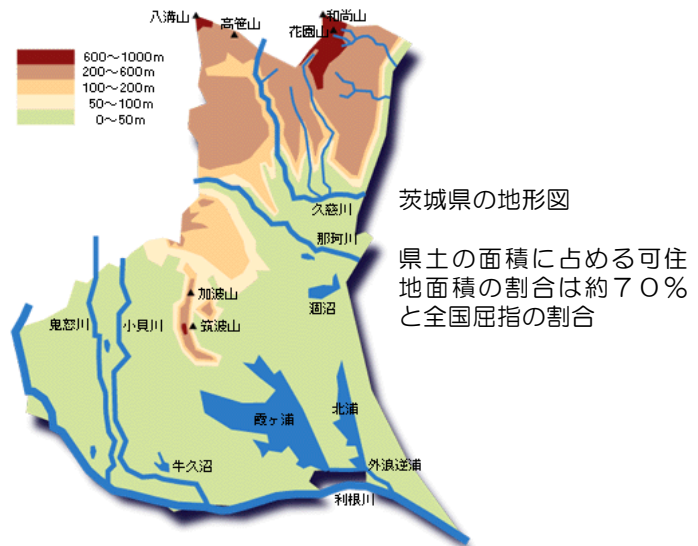


## 計画のテーマ

### ○大地の豊かさと自然の恵みを五感で楽しむ非日常空間

#### 1 恵まれた自然と豊かな大地、文化を紡ぐ歴史

奈良時代のはじめに編纂された常陸国風土記において、茨城は「広大な土地、海山の産物の多彩さ、人々の豊かな暮らしは、まるで常世の国（極楽）のようだ」と表現されています。それは現代においても変わらず、東京に近接しているにも関わらず、東に約170kmに及ぶ海岸線、西に日本百名山に数えられる筑波山を中心とした山々・筑波連山などがあり、海と山に挟まれた平野が大きく広がり、那珂川や久慈川、霞ヶ浦、涸沼などの河川・湖の水辺も有します。海域では親潮と黒潮がぶつかり、これが茨城の気候にも大きな影響を与え、海浜植物に南限・北限のものが混在するなど多様性も持ち合わせます。こうした環境と年間を通じて穏やかな気候は、花をはじめとして多種多様な動植物を育み、花卉園芸や果物、野菜などは日本を代表する一大産地となっています。



江戸時代、軍事、流通経済の要衝である茨城の地には江戸城の守りとして、徳川御三家の一つ水戸藩が配され、この豊穡の地を治めてきました。

水戸藩九代藩主徳川斉昭は、「一弛一急」の考え方のもと、文武修業の場である弘道館と修業の余暇に心身を休める場である偕楽園を開設しました。

偕楽園は、「民と偕（とも）に楽しむ」という斉昭の思想のもと、藩主や藩士のみならず庶民にも開放する主旨で造園され、近代の公園の原形とも言えるもので、特筆すべきは、千波湖を借景として取り入れ、筑波山や大洗の海を遠望できるよう、茨城の雄大な自然を背景として梅などを楽しむ庭園として計画されたことです。



偕楽園 梅林

斉昭が目指した自然との調和は、地勢や周囲の自然を活かして造られた偕楽園で体现され、本県の庭園にも共通の理念としてつながっています。

齊昭は、偕楽園と弘道館に多くの梅を植えた由来を種梅記碑（弘道館内）に刻んでいます。梅は疲労回復に効果のあるクエン酸を含み栄養価に優れた果実です。碑には「梅は、美しい花を咲かせ、実は喉の渇きを癒やし、戦の時の保存食（梅干し）となり、薬効にも優れていることから、偕楽園、弘道館をはじめ、領内にはたくさんの梅が植えられた」と記されており、梅の花を觀賞するだけでなく、食料や健康の観点からも梅を植えたことが読み取れます。



弘道館内にある種梅記碑

このため、梅は古くから県民に親しまれてきた果物であり、現在でも、梅干しをはじめ、飲み物や酒、お菓子などに加工され、水戸のお土産としても幅広く販売されています。

水戸藩では日々のバランスのとれた食事が病気予防につながる「医食同源」を推奨したほか、薬草研究にも熱心に取り組み、薬草の処方を紹介した、日本最古の家庭の医学書といわれる「救民妙薬（きゅうみんみょうやく）」を発行するなど、領民の健康を気遣った二代藩主光圀以来、医学、医療への関心が高く、齊昭はまた、藩校である弘道館に医学館を開設し、薬草園を整備しました。弘道館内の薬草園は水戸市植物公園において再現されており、水戸藩が育ててきた薬草・生薬文化は、園内の薬草園・水戸養命酒薬用ハーブ園において体感することができます。



救民妙薬



水戸養命酒薬用ハーブ園

## 2 茨城の庭園文化

水戸藩によって生まれた庭園文化は、現代に受け継がれており、歴史が息づく偕楽園、弘道館にはじまり、茨城の地勢や周囲の自然を活かした庭園や、農業県である茨城の花弁園芸の振興に向け、四季の様々な花々にあふれた庭園が整備されてきました。

偕楽園は、約100品種、3千本の梅が植えられた梅の名所で、日本三名園の一つに数えられる首都圏有数の観光地です。年間100万人を超える人々が訪れ、特に毎年2月から3月に開催される「梅まつり」は多くの人で賑わいます。南に千波湖を望む高台に整備され、園内の好文亭から見る庭園と借景となる千波湖や遠く筑波山などが望めるロケーションは、偕楽園の魅力を引き立てています。



千波湖を借景とした偕楽園の眺め



国営ひたち海浜公園は、年間200万人を超える観光客が訪れ、広大な大地の上に形作られたみはらしの丘に咲くネモフィラやコキアと開放感のある空や海が織りなす、他にはない空間は見る者を魅了します。広大な園内には、緑の草原や大規模な花畑が広がり、太平洋を一望できる砂丘エリアでは貴重な海浜植物も鑑賞できます。






国営ひたち海浜公園 みはらしの丘

これら2つの名園のほかにも、茨城県の花弁園芸の振興を目的としてつくられ、世界のバラ800品種3万株のバラが見られる茨城県フラワーパークや、多種多様な四季の花々があり、温室では珍しい植物が見られる茨城県植物園や水戸市植物公園、さらに、自然の風景を庭園に取り入れた国内屈指のイギリス風景式庭園として整備された七ツ洞公園、ツツジが山を赤く染め上げる笠間つつじ公園、ラムサール条約に登録された涸沼のほとりにアジサイが咲き誇る涸沼自然公園など、個性ある庭園があり、様々な見所を有しています。

しかしながら、観光客が主に訪れるのは、日本三名園の一つである偕楽園や「死ぬまでに行きたい！世界の絶景」に選ばれた国営ひたち海浜公園だけであり、目的の庭園を見た観光客は他の庭園をめぐらず、食事をして帰ってしまうという課題があります。他の庭園の見どころの時期をこれら2つの庭園とあわせて紹介することなどにより、リピーターの増加や滞在型観光の促進などを図っていきます。

### ■ 3つのカテゴリーに区分される構成庭園

-  歴史が息づく庭園
-  自然と調和した景観が特徴的な庭園
-  四季の花が楽しみ、花卉園芸の振興に資する庭園

 <p>笠間つつじ公園</p>	 <p>弘道館</p>	 <p>水戸市植物公園</p>
 <p>七ツ洞公園</p>	 <p>偕楽園公園</p>	 <p>茨城県植物園</p>
 <p>涸沼自然公園</p>	 <p>国営ひたち海浜公園</p>	 <p>茨城県フラワーパーク</p>

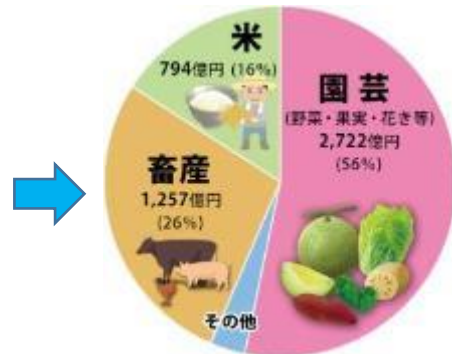
### 3 茨城の強み（農業と自転車）

#### 〈農業〉

茨城は農業算出額約5千億円を誇り、長年、全国第2位に位置する農業大県です（2017年は第3位）。東京中央卸売市場の茨城県産農作物の取扱高は15年連続で第1位を記録し、大消費地である首都圏に隣接する条件を活かし、野菜や果物、花卉の生産が盛んに行われています。

過去5年の農業産出額 都道府県別順位					(単位:億円)
順位	2013	2014	2015	2016	2017
1位	北海道 (10,705)	北海道 (11,110)	北海道 (11,852)	北海道 (12,115)	北海道 (12,762)
2位	茨城県 (4,356)	茨城県 (4,292)	茨城県 (4,549)	茨城県 (4,903)	鹿児島県 (5,000)
3位	千葉県 (4,141)	鹿児島県 (4,263)	鹿児島県 (4,435)	鹿児島県 (4,736)	茨城県 (4,967)
4位	鹿児島県 (4,109)	千葉県 (4,151)	千葉県 (4,405)	千葉県 (4,711)	千葉県 (4,700)
5位	熊本県 (3,250)	宮崎県 (3,346)	宮崎県 (3,424)	宮崎県 (3,562)	宮崎県 (3,524)

農林水産省統計部「生産農業所得統計」



#### 〈果物〉

茨城には、全国トップクラスの生産量を誇るメロンや梨、栗など様々な種類の果物があります。果物狩りや直販など季節ごとの味覚が味わえる果樹園も数多く、本ツーリズムの構成庭園の周辺にも果樹園が多数分布しています。さらに、各果樹園における果物の旬の時期と各庭園における花の見どころが重なっており、ガーデンツーリズムとの連携は、「茨城のフルーツ」の認知度向上やブランド化などにも効果を発揮するものと考えられます。

早春	春	秋
梅, スイセン	ネモフィラ, ツツジ	コキア(紅葉), パラ
イチゴ	メロン, イチゴ	柿, 栗, 梨, ブドウ



**梅**  
「観ても、食べても楽しめる梅の産地」を目指し、水戸産梅「ふくゆい」が誕生



**メロン**  
生産量日本一 茨城オリジナル品種「イバラキング」は4月から味わえる



**梨**  
生産量全国2位 茨城オリジナル「恵水」は大玉で果汁たっぷりの新品種



**柿**  
甘柿の北限 八郷の柿は献上柿としても有名



**栗**  
生産量日本一 笠間の栗は東京の老舗和菓子店でも使用されている







#### 4 いばらきガーデン&オーチャードツーリズムによる地域振興

恵まれた自然と調和し、豊かな大地を活かして創られた庭園が織りなす風景を東京から1時間の大都市近郊で見られるのは、茨城の大きな魅力です。古くは梅に代表され、季節の果物が実る果樹園の風景も茨城らしさを象徴するものであり、構成庭園の近くで、こうした風景に出会うことができるのも茨城ならではの楽しみです。



茨城県フラワーパークに近い石岡市八郷地区に広がる果樹園の風景

いばらきガーデン&オーチャードツーリズムでは、鳥のさえずりを聞きながら花々から香る季節の匂いを楽しみ、

果樹園で旬の果物を自分の手でもぎ取り味わい、自転車を漕ぎながら庭園や果樹園が広がる雄大な風景をゆったりと眺めることのできる、茨城ならではの五感で体感する旅を提供します。

##### 〈果物〉

果物の旬の時期と花の見どころを組み合わせ、季節ごとに楽しめる庭園と果樹園をセットでめぐるプランを提案します。併せて、各庭園や果樹園において、茨城の果物などを使用した飲食物やお土産の開発・販売を行い、茨城の農産物の6次産業化による地域振興を目指していきます。

##### 〈食〉

水戸市植物公園には、県産食材と園内のハーブを使用した薬膳料理を提供するカフェがあり、各庭園の周辺にも地元の野菜などの食材を使用するレストランなど、豊かな自然に育まれた茨城の食が味わえるスポットがあることから、こうした茨城の食との連携も図っていきます。

##### 〈健康〉

庭園を訪れ、花々を眺めながら散策を楽しむことは、それだけでも健康に効果的ですが、本ツーリズムでは、これらに加え、庭園間の移動手段の一つとして自転車利用を提案します。

観光振興を図る上で、鉄道各駅から目的地までの2次交通の弱さが課題であり、これらを補完する役割として十分に活用できるとともに、いばらきサイクルツーリズムと連携することにより、サイクリストにとっても見どころが増え、庭園を休憩スポットとするなど、新たな利活用を促す効果も期待できます。



自然と大地の豊かさがもたらす恵みや水戸藩が築いた歴史・文化の中で育まれてきた庭園間をつなぎ、四季折々の花 Flower や新鮮かつ豊富な果物 Fruit、本県の農産物を使用した食 Food、健康 Health の頭文字をとった「いばらき 3 F & H」をキャッチフレーズにツーリズムを展開

### 構成庭園一覧表

ふりがな 構成庭園 の名称 (※1)	かいらくえんこうえん 偕楽園公園	構成庭園の 所在地	水戸市
1 構成庭園 の概要 (※2)	<p>【開園面積】58ha（偕楽園本園）+74ha（千波公園）            【入園料金】無料（11月1日より大人300円・小人150円）            【公開時期】通年            【施設管理者】茨城県、水戸市            【その他】入園者数96万人（H30年度・偕楽園本園）</p>		
	<p>偕楽園は、「日本三名園」のひとつで、天保13年（1842年）に水戸藩九代藩主徳川斉昭によって造園されました。園内には約100品種・3千本の梅が植えられ、梅の名所として有名ですが、春には桜、初夏には霧島ツツジ、真夏には孟宗竹林、秋には萩の花やモミジなど四季折々の見所があります。</p> <p>また、偕楽園の借景となっている千波湖やその周辺の公園など、この地域全体を指す総称として「偕楽園公園」と名付けられており、エリア全体を見ると、市街地に位置する公園としては世界有数の広さを誇っています。</p> <div data-bbox="497 837 1430 1675"> </div> <div data-bbox="387 1379 943 1659"> </div> <p>↑上空から見た偕楽園エリア</p> <div data-bbox="379 1760 1442 1995"> <p><b>花の見ごろ</b></p> <p>早春 ウメ（1月中旬～4月中旬）            春 ツツジ（4月下旬～5月中旬）            夏 ハギ（8月中旬～9月下旬）</p> <div data-bbox="928 1798 1152 1962"> </div> <div data-bbox="1174 1798 1398 1962"> </div> </div>		



計画のテーマでの位置づけ  
(※3)

徳川齊昭は、南に千波湖や緑が岡をのぞみ、筑波山や大洗の海を遠望できる高台を藩内随一の景勝地として遊園を設けることを決め、自ら造園構想を練りました。

地勢や周囲の自然を活かしたづくりは、造園家の本多静六氏によると「風景簡素にして雄渾を極める」「様式斬新にして空前なり」「造園学の立場より観れば、同園は三大公園中最も優れたものである」といわれています。



構成庭園一覧表

ふりがな 構成庭園 の名称 (※1)	こうどうわんこうえん 弘道館公園	構成庭園の 所在地	水戸市
構成庭園 の概要 (※2)	<p>【開園面積】3ha            【入園料金】大人200円（11月より大人400円）            【公開時期】通年            【施設管理者】茨城県            【その他】入園者数9万人（H30年度）</p> <p>「水戸藩」の藩校として徳川齊昭により創設されました。学問と武芸両方が重視され、幅広い科目を教える、江戸時代の総合大学と呼べる施設でした。正門・正庁・至善堂は国の重要文化財に指定されており、敷地跡は弘道館公園として、偕楽園と並ぶ水戸の梅の名所となっています。</p> <div data-bbox="384 698 1406 1391"> </div> <div data-bbox="384 1406 1406 1576"> <p><b>花の見ごろ</b></p> <p>早春 ウメ（1月中旬～3月下旬）</p>  </div>		
計画のテーマでの 位置づけ (※3)	<p>水戸藩は薬草と縁が深く、弘道館の分館である医学館には薬草園が設置され、薬草の栽培から製薬まで行えました。水戸藩ゆかりの薬草は、現在水戸市植物公園の「薬用ハーブ園」で見ることができます。</p> <div data-bbox="1075 1639 1425 1951"> </div> <p>弘道館全図に描かれた医学館の部分</p>		



構成庭園一覧表

ふりがな 構成庭園 の名称 (※1)	いばらきけんしよくぶつえん 茨城県植物園	構成庭園の 所在地	那珂市
構成庭園 の概要 (※2)	<p>【開園面積】12ha            【入園料金】300円（一般）            【公開時期】通年            【施設管理者】茨城県            【その他】入園者数6万人（H30年度）</p> <p>茨城県植物園は、植物の知識が学べる憩いの場として昭和56年に開園した自然観察施設です。約600種、約5万本の植物が四季折々を彩る園内には、噴水のある沈床園や広々とした芝生広場等の憩いの場のほか、東南アジアの熱帯・亜熱帯植物を鑑賞できる熱帯植物館があります。県民の森では、「新日本歩く道紀行 1000選」に選ばれた散策路を歩きながら、自生する草花をながめ、野鳥の鳴き声を聞き、森のにおいを感じることができます。都心では決して味わうことができない自然体験を五感で楽しめます。</p> <div data-bbox="368 1391 1422 1599" style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p><b>花の見ごろ</b></p> <p>早春 ツバキ（3月～4月）            春 ボタン（5月上旬）            夏 サルスベリ（7月中旬～8月）            秋 バラ（10月中旬～11月）</p>  </div>		
計画のテ ーマでの 位置づけ (※3)	<p>自然林が広がる県民の森と調和した植物園では一年を通じて四季の花々が楽しみ、園内のカエデ園やバラ園、ボタン園、ツバキ園では様々な種類の木々や花々を見ることができます。</p> 		

1

構成庭園一覧表

ふりがな 構成庭園 の名称 (※1)	み と し し ゅ く ぶ つ こ う え ん 水戸市植物公園	構成庭園の 所在地	水戸市
構成庭園 の概要 (※2)	<p>【開園面積】8ha                      【入園料金】300円（一般）                      【公開時期】通年                      【施設管理者】水戸市                      【その他】入園者数5万人（H30年度）</p> <p>自然美と人工美が調和した洋風庭園です。四季を通じて花が楽しめ、日本造園学会賞を受賞した瀧光夫氏設計の観賞大温室や熱帯果樹温室では、熱帯・亜熱帯の植物が観賞できるほか、日本に自生するキバナアキギリの自然交雑種から海外種まで幅広いサルビアのコレクションが、秋に見ごろを迎えます。展示会や教室を年約100回開催、様々な花と緑の文化に触れることができます。</p> <p>平成29年度に、開園30周年を迎え、薬木のキハダをシンボルツリーにした「水戸 養命酒薬用ハーブ園」を開設。水戸黄門こと徳川光圀の時代から続く薬草と、海外のハーブを観賞できます。現在、10か年計画でリニューアルを実施中。</p>  <p>水戸 養命酒薬用ハーブ園                      「ハーブガーデンエリア」と                      「江戸時代の水戸藩にまつわる                      薬草エリア」の2つのエリアから                      構成されたガーデンでは、季節の                      ハーブや薬草を楽しむことができます。</p> <div data-bbox="368 1444 1437 1653" style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p><b>花の見ごろ</b></p> <p>早春 クリスマスローズ（3月上旬～下旬）</p> <p>春 イングリッシュローズ（5月中旬～下旬）</p> <p>夏 チョウマメ（ハーブ園）（8月上旬～下旬）</p> <p>秋 秋咲きサルビア（10月上旬～下旬）</p>  </div>		
計画のテ ーマでの 位置づけ (※3)	<p>園内では、イングリッシュローズやクリスマスローズ、サルビアなど色鮮やかな花々と風景が四季を通じて楽しめるほか、温室では、熱帯から亜熱帯の花や果樹が観賞できます。</p> <p>薬草園では、水戸黄門こと水戸藩二代藩主徳川光圀がまとめさせた日本最古の家庭療法の本「救民妙薬」に載っている薬草や、弘道館で育てられていた薬草など、水戸藩ゆかりの薬草を50種類以上栽培しています。</p> 		



構成庭園一覧表

ふりがな 構成庭園 の名称 (※1)	ななつどうこうえん 七ツ洞公園	構成庭園の 所在地	水戸市
1 構成庭園 の概要 (※2)	<p>【開園面積】8ha                      【入園料金】無料                      【公開時期】通年                      【施設管理者】水戸市                      【その他】入園者数7万人（H30年度）</p>		
	<p>英国法人が設計し、英国建材を用いた国内屈指の英国風景式庭園。廃墟やダム、4段に分かれたサーペントインレイクを備えた風景式庭園と、コテージガーデンと呼ばれるイングリッシュローズなどが植えられた「秘密の花苑」が来園者を迎えます。</p>    <div data-bbox="375 1411 1428 1556" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>花の見ごろ</b></p> <p>春 イングリッシュローズ（5月中旬～6月上旬）                      秋 イングリッシュローズ（10月下旬～11月中旬）</p>  </div>		
計画のテーマでの位置づけ (※3)	<p>水戸市の郊外、豊かな森と水に恵まれた田園風景の中に佇む、周囲の自然風景を庭園に取り入れた国内屈指の本格的英国式庭園です。園内には、英国にルーツを持つバラ、イングリッシュローズが植えられています。</p> 		

構成庭園一覧表

ふりがな 構成庭園 の名称 (※1)	こくえい ひたち かいひんこうえん 国営ひたち海浜公園	構成庭園の 所在地	ひたちなか市																
1 構成庭園 の概要 (※2)	<p>【開園面積】215ha            【入園料金】450円(一般)            【公開時期】通年            【施設管理者】国土交通省            【その他】入園者数229万人(H30年度)</p>																		
	<p>国営ひたち海浜公園は、首都圏における広域的なレクリエーション需要に対応するため平成3年に開園した国営公園です。近年は、ネモフィラやコキアが人気を博し、世界の絶景と評され、4年連続入園者数200万人を突破するなど、国内だけでなく外国人観光客にも人気の公園となっています。</p>  <p>ネモフィラ コキア</p> <p>バラ</p> <div data-bbox="384 1480 1426 1888" style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p><b>花の見ごろ</b></p> <table border="0"> <tr> <td>早春</td> <td>スイセン (3月上旬～中旬)</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>春</td> <td>チューリップ (4月中旬～下旬)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ネモフィラ (4月中旬～5月上旬)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>バラ (5月中旬～6月上旬)</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>夏</td> <td>コキア 緑葉 (8月中旬～9月中旬)</td> </tr> <tr> <td>秋</td> <td>コキア 紅葉 (9月下旬～10月中旬)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>バラ (10月下旬～11月上旬)</td> <td></td> </tr> </table> </div>			早春	スイセン (3月上旬～中旬)		春	チューリップ (4月中旬～下旬)		ネモフィラ (4月中旬～5月上旬)		バラ (5月中旬～6月上旬)		夏	コキア 緑葉 (8月中旬～9月中旬)	秋	コキア 紅葉 (9月下旬～10月中旬)		バラ (10月下旬～11月上旬)
早春	スイセン (3月上旬～中旬)																		
春	チューリップ (4月中旬～下旬)																		
	ネモフィラ (4月中旬～5月上旬)																		
	バラ (5月中旬～6月上旬)																		
夏	コキア 緑葉 (8月中旬～9月中旬)																		
秋	コキア 紅葉 (9月下旬～10月中旬)																		
	バラ (10月下旬～11月上旬)																		



計画のテーマでの位置づけ  
(※3)

ネモフィラ・コキアの見られる「みはらしの丘」は、日本庭園の築山をイメージして設計し、建設発生土を使って造成した人工の丘です。関東平野や太平洋を一望でき、かつ周囲に風景を遮るものがないため、花と空と海が織りなす景色を楽しむことができます。

ネモフィラの時期、花の青、空の青、海の青が溶け合う姿はここ以外では見られない唯一無二の風景をつくりあげています。

砂丘エリアの高台にあるガラスハウスのカフェでは光と静寂の中で、太平洋を眺めながらゆっくりとした時間を楽しむことができます。



構成庭園一覧表

ふりがな 構成庭園 の名称 (※1)	ひぬましげんこうえん 涸沼自然公園	構成庭園の 所在地	茨城町
構成庭園 の概要 (※2)	<p>【開園面積】35ha                      【入園料金】無料                      【公開時期】通年                      【施設管理者】茨城町                      【その他】入園者数7万人（H30年度）</p> <p>ラムサール条約にも登録された涸沼のほとりにあり、様々な野鳥や生物、美しい花々を身近に感じることができます。涸沼を眺めることができる太陽の広場、子供向けの遊具が備えられたわいわい広場、小さな溪流が流れるせせらぎ広場など合計5つの広場で楽しめます。</p>  <div data-bbox="400 1429 1426 1592" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p><b>花の見ごろ</b></p> <p>夏 アジサイ（6月中旬～7月中旬）</p>  </div>		
計画のテーマでの 位置づけ (※3)	<p>アジサイは涸沼のほとりの谷の斜面に植えられ、涸沼から流れる風が涼しいため、他の地域よりも少し遅い時期に咲くのが特徴です。自然の地形をそのまま生かした大パノラマに広がるアジサイは約30種1万株。知る人ぞ知るアジサイの名所です。</p> <p>園内「太陽の広場」は高台にあり、ラムサール条約登録湿地「涸沼」を一望でき見晴らしは抜群です。</p> 		

1

構成庭園一覧表

ふりがな 構成庭園 の名称 (※1)	茨城県フラワーパーク	構成庭園の 所在地	石岡市
1 構成庭園 の概要 (※2)	<p>【開園面積】30ha            【入園料金】300円～740円(大人)            【公開時期】通年            【施設管理者】茨城県            【その他】入園者数22万人(H30年度)</p> <p>茨城県フラワーパークは、つくばで開催された国際科学技術博覧会を記念して、1985年石岡市に開園しました。県花でもあるバラが約800品種3万株が植栽され、全国有数の規模を誇るほか、河津桜やボタン、シャガ、ヤマユリ、ダリアなど、四季折々の花を楽しむことができ、更に、花が少ない冬にはイルミネーションを開催し、開園以来延べ860万人を超える方が来園しています。</p>  <div data-bbox="368 1480 1430 1742" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>花の見ごろ</b></p> <p>早春 サクラ (4月上旬～中旬)            春 ボタン (4月下旬～5月上旬)            春バラ (5月中旬～6月中旬)            夏 ヤマユリ (7月上旬～下旬)            秋 秋バラ (9月中旬～11月上旬)            ダリア (9月上旬～11月上旬)</p>  </div>		
計画のテーマでの位置づけ (※3)	<p>フラワーパークは花き文化の振興を目的につくられ、園内では四季折々の花が楽しめます。特に、バラは多くの品種を鑑賞でき、毎年春にはバラまつりを開催しています。多種多様なバラが咲き誇る園内では、地元の農家が育てたバラを販売しているほか、バラを使用した紅茶やスイーツ等も楽しめます。</p> 		



構成庭園一覧表

ふりがな 構成庭園 の名称 (※1)	笠間つつじ公園	構成庭園の 所在地	笠間市
構成庭園 の概要 (※2)	<p>【開園面積】7ha                      【入園料金】500円（4月中旬～5月中旬）                      【公開時期】通年                      【施設管理者】笠間市                      【その他】入園者数3万人（H30.4.14～5.6 ※つつじまつり期間のみ）</p> <p>笠間つつじ公園は、昭和42年の市民ツツジ株運動による植樹から始まり、標高143メートル、約7ヘクタールの園内に様々な種類のツツジが山一面に植えられています。毎年開催している「笠間つつじまつり」は、昭和46年から始まった歴史のあるイベントで、見頃となるゴールデンウィークには、小高い丘が真っ赤に染まり、多くの観光客を楽しませています。</p>  <p>笠間つつじ公園マップは、園内を詳細に示しています。中央には緑色の湖があり、周囲にはピンク色のツツジが咲き誇ります。マップには、第1ゲートから、第2ゲートから、第3ゲートからの入園ルートが示されています。また、駐車場（P）やトイレ、売店などの施設も記載されています。左側には、公園の歴史やツツジの種類に関する説明が記載されています。</p>		
計画のテ ーマでの 位置づけ (※3)	<p>笠間市街の東に位置する富士山（ふじやま）の中腹から山頂にかけて整備された公園で、山頂の展望施設からは笠間の市街地と自然を一望することができ、夜間でも入園可能なため、夜景スポットとしても有名です。</p> <p>山一面をつつじが真っ赤に染め上げる風景は、同じ時期に咲く国営ひたち海浜公園のネモフィラと、赤と青で色の好対照の景色をつくりあげます。</p>		

1





## 実施する事業と実施体制

(1) これまでの取組	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 偕楽園で水戸の梅まつりを毎年2月～3月に開催</li> <li>・ 国営ひたち海浜公園でネモフィラハーモニー(4月～5月)、コキアライトアップ(8月)、コキアカーニバル(9月～10月)などの各種イベントを開催</li> <li>・ 水戸市では市内のイベントシーズンに観光地回遊バスを運行し、施設間の周遊を促進</li> <li>・ 石岡市では観光ハイシーズンにフラワーパーク外観光スポットを周遊するバスや、イルミネーションの12月に石岡駅⇄フラワーパーク⇄温泉を周遊するバスを運行</li> <li>・ 平成31年3月27日に茨城県公園間交流連携促進協議会を設立</li> </ul>	
(2) 今後の取組	
<p>① モデルツアーの企画 季節の見どころを組み合わせたツアーや歴史や体験型などをテーマにしたツアーを企画</p> <p>② ガイドブック等の作成や情報発信 各庭園の見所やモデルコースなどを記載したガイドブックや「救民妙薬」の現代版を作成 既存のSNSを活用し、季節のみどころなどを情報発信 様々なメディアを使用したプロモーションを展開</p> <p>③ 県産フルーツを使用した飲食物、お土産の開発・販売と茨城の食との連携 県産の季節のフルーツを使用したアイスなどのスイーツを開発し、各庭園で販売 県産食材や園内のハーブを使用した料理の提供など食と連携した取り組みの実施</p> <p>④ 各種イベントの実施 共通のテーマに即したイベントや体験型のイベントを各庭園で開催</p> <p>⑤ ボランティアやガイドの育成 協議会の取り組みをサポートするボランティア組織やガイドを育成</p>	
(3) 協議会の構成員	
茨城県、国営常陸海浜公園事務所、水戸市、笠間市、石岡市、茨城町、ひたち公園管理センター、農林振興公社、茨城県観光物産協会	
(4) 事業の実施体制	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 協議会を主体とした運営とともに、協賛企業・団体、ボランティアなどを募集し、推進体制の構築を図る。</li> <li>・ 各観光協会、JR東日本、旅行会社などとタイアップし、旅行商品の企画・開発を図る。</li> <li>・ 2次交通の充実に向け、交通機関への協力の働きかけ、自転車利用に向けた「いばらきサイクルツーリズム」との連携強化などに取り組む。</li> </ul>	
(5) 具体的な事業	様式1-8のとおり

具体的な事業一覧表

事業名①	モデルツアーの企画		
実施主体	協議会	事業期間	2019 年度 ~ 2023 年度
実施施設	全施設		
事業概要	<p>○ モデルツアーの企画</p> <p>偕楽園では梅まつりに合わせて、「全国梅酒まつり in 水戸」や梅を使用したお土産品の販売を行うなど、茨城を代表するオーチャードツーリズムに取り組んでいるとともに、JR東日本や旅行会社とタイアップし、国営ひたち海浜公園や偕楽園とイチゴ狩りや栗拾いや焼き栗が試食できるツアーを実施しており、好評を得ているところ。今後は、その他の構成庭園と果樹園や果物狩り等を組み合わせたツアーに発展させていくとともに、歴史や健康体験などの新たな分野のツアーにも取り組んでいく。</p> <div data-bbox="316 831 1422 1570"> <p>※ツアーの具体例 各庭園の季節の見どころをつなぐツアー</p> <p>【秋】 国営ひたち海浜公園 (コキア) 車で 20km ↓ バス ↓ 勝田駅 ↓ 電車 ↓ 水戸駅 ↓ バス 水戸市植物公園 (葉膳ランチ・バラ) 車で 40km ↓ バス ↓ 水戸駅 ↓ 電車 ↓ 石岡駅 ↓ バス 茨城県フラワーパーク (バラ) 車で 至近 ↓ バス 果樹園 (石岡 柿, ブドウ)</p> <p>【春】 国営ひたち海浜公園 (ネモフィラ) 車で 40km ↓ バス ↓ 鉾田駅 ↓ 電車 ↓ 新鉾田駅 ↓ バス 果樹園 (鉾田 メロン)</p> <p>凡例 春 → 秋 ←</p> </div>		
	<p>これまで旅行会社から発売されたツアーの一例</p>		<p>全国梅酒まつり in 水戸</p>



具体的な事業一覧表

事業名②	ガイドブック等の作成や情報発信		
実施主体	協議会	事業期間	2019 年度 ~ 2023 年度
実施施設	全施設		
事業概要	<p>○ガイドブック等の作成 各庭園の見所やモデルコースなどを記載したガイドブックや、季節ごとに見所や食事処をまとめた、手にとってもらえるようなパンフレットを作成する。ガイドブックやパンフレットは、集客力の高い国営ひたち海浜公園や偕楽園、周辺に構成庭園がちらばっている北関東自動車道SAなどで配布し、効果的な集客を図る。</p> <p>○現代版「救民妙薬」の作成 水戸光圀（水戸黄門）がつくった「救民妙薬」について、水戸藩時代の薬草50種類以上を収集・栽培している水戸市植物園の薬草園に植えられている薬草（ハーブ）の効能や写真などの紹介を盛り込み、現代復刻版にリニューアルする。薬草園を見学した人のみに配布することで、そこに足を運んだ人しか入手できないプレミアム感を持たせる。</p> <p>○SNSによる情報発信 SNSを活用し、季節の花の見どころや旬の果物の紹介など情報発信を行う。茨城県では「いばらきの公園」というタイトルで既にSNSを活用した情報発信を行っており、こうした既存媒体を活用する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="379 1144 671 1552">  <p>Facebook</p> </div> <div data-bbox="762 1144 1082 1552">  <p>Twitter</p> </div> </div> <p>○メディアを活用したプロモーション 観光部門と連携し、県インターネットテレビ「いばキラTV」など様々なメディアを使用し、いばらきガーデン&amp;オーチャードツーリズムのプロモーションを展開していく。</p> <p>○レンタカー会社との連携 レンタカーで移動する旅行者に向け、水戸駅や茨城空港周辺のレンタカー会社と連携し、ガイドブックやパンフレットを配布する。</p>		

具体的な事業一覧表

事業名③	県産フルーツを使用した飲食物、お土産の開発・販売と茨城の食との連携		
実施主体	各施設の管理者	事業期間	2019 年度 ～ 2023 年度
実施施設	全施設		
事業概要	<p>○県産フルーツを使用した飲食物、お土産          季節ごとの茨城県産フルーツを使用したアイスなどのスイーツを開発する。各庭園で販売し、そこで味わった旬の味覚をきっかけに、近隣の果樹園にも実際に足を運んでもらい、旬のフルーツそのものを食してもらおう。</p> <p>茨城県では、県内で開発、製造、販売される優れた土産品を顕彰、PRする「いばらきお土産大賞」を3年に一度開催しており、販売促進に向け選定されたお土産品を各構成庭園で販売・PRを行っていく（第2回大賞に選定されたお土産は国営ひたち海浜公園で限定販売を実施）。</p>		
	 <p>毎年8月に国営ひたち海浜公園で行われる「ROCK IN JAPAN FESTIVAL」では完熟メロンを丸ごと1個使用した「メロンまるごとクリームソーダ」が大人気</p>	 <p>第3回茨城お土産大賞で大賞（旅みやげ部門）を受賞した「茨城めろんの片想い」          県産の完熟メロン果汁を練り込んだプチメロンパン</p>	 <p>水戸産の梅ペーストに偕楽園の梅干し果肉を梅あんに加え、形は梅干しそっくりのお菓子</p>
 <p>第3回茨城お土産大賞で大賞（旅みやげ部門）を受賞した「すいーとまるん」          笠間産の栗だけを使用</p>	<p>○食との連携          庭園内にあるレストランやカフェにおいて、県産食材や園内で採れたハーブなどを使用したメニューの提供など、茨城の食との連携を図っていく。</p>		
 <p>フラワーパーク園内には、地元の八郷地区で採れる食材を提供する「Yasato de Toreta」レストランと直売所があり、自然そのもののおいしさを感じることができます。</p>	 <p>偕楽園公園・千波湖湖畔の「好文 Café」では、ガラス越しに千波湖を眺めながら、茨城の食材をふんだんに使った料理を食べることができます。</p>		



具体的な事業一覧表

事業名④	各種イベントの実施		
実施主体	協議会	事業期間	2019 年度 ～ 2023 年度
実施施設	全施設		
事業概要	<p>○共通するテーマに即したイベント 各庭園に共通するテーマに即したイベントを実施する。これまで、東京の小石川後楽園と弘道館、水戸市植物公園による薬草と歴史をテーマとした合同イベントを開催しており、バラやハーブなどのテーマに即したイベントを実施する。</p> <p>○体験型イベント 水戸市植物公園での薬膳料理に、ヨガをセットにしたプランやガーデニングをセットにしたプランなど体験型のイベントを実施する。</p> <p>○各種イベントにおける連携 各庭園で実施しているイベントにおいて、本ガーデンツーリズムのPRなど、連携した取り組みを実施する。</p> <div data-bbox="1134 577 1406 949" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="986 987 1406 1234" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">水戸市植物公園のパークヨガ</p> <div data-bbox="328 1429 748 1740" data-label="Image"> </div> <p>セツ洞公園において、イングリッシュローズが見ごろをむかえる5月末に、健康で持続可能な生活様式「LOHAS（ロハス）」をテーマとしたイベント「KUNITA DE LOHAS（クニタデロハス）」を例年開催。</p>		

具体的な事業一覧表

事業名⑤	ボランティアやガイドの育成		
実施主体	各施設の管理者	事業期間	2019 年度 ~ 2023 年度
実施施設	全施設		
事業概要	<p>協議会の取り組みをサポートしてくれるボランティア組織を育成する。国営ひたち海浜公園や水戸市植物公園などではボランティア組織が活躍しており、こうした取り組みを参考にしながら、ボランティア組織の拡大を図っていく。</p> <p>併せて、自らの庭園だけでなく、他の庭園の魅力や見どころをを紹介するガイドの育成も行っていく。</p>		



花の見どころと旬の果物 カレンダー

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
Flower	国営 ひたち 海浜公園				ネモフィラ 	菜の花 	バラ 		コキア(緑) 		コキア(紅葉) 			
	借楽園		スイセン 		チューリップ 	ポピー 			ヒマワリ 		コスモス 	バラ 		
	その他 (特徴的 な花々)		梅 		桜 	ツツジ 		アジサイ 				萩 	モミジ(紅葉) 	
Fruit	いちご		メロン		ぶどう ブルーベリー		梨		栗		りんご		柿	

春バラ5月中旬～6月上旬  
秋バラ10月下旬～11月中旬



国営ひたち海浜公園  
茨城県植物園  
水戸市植物公園  
七ツ洞公園

アジサイ 6月中旬～7月上旬



酒沼自然公園  
借楽園  
七ツ洞公園

2月下旬～3月

梅まつり(借楽園)



Event  
水戸のうめまつり  
Flower  
梅, 早咲きスイセン  
Fruit  
イチゴ

4月下旬～5月上旬

ネモフィラ(国営ひたち海浜公園)



Event  
ネモフィラハーモニー, 笠間のつつじまつり  
Flower  
ネモフィラ, チューリップ, ツツジ, 菜の花  
Fruit  
メロン

7月下旬～9月中旬

緑コキア(国営ひたち海浜公園)



Event  
コキアライトアップ  
Flower  
コキア, ジニア  
Fruit  
梨, ぶどう, ブルーベリー

9月下旬～10月中旬

赤コキア(国営ひたち海浜公園)



Event  
コキアカーニバル, 萩まつり  
Flower  
コキア, 萩, バラ  
Fruit  
ぶどう, 梨, 栗, 柿, リンゴ